



さかきっ子

学校教育目標

「かしこく・やさしく・たくましい

『さかきっ子』の育成」

《育てたい力》

考える力

協働する力

がんばり抜く力

いよいよ冬休みです！ 23日

今年もあと8日で終わり、新年を迎えます。振り返ると今年もいろいろなことがありました。特に、新聞に投稿したり、取材を受けたり、テレビに映ったりと外部に本校の教育活動を発信する機会も多かったです。各種のコンクールでも多くの児童が受賞したり、社会体育の部門で活躍したりして大変嬉しく思いました。一方で、学校内でも2年間の町教育委員会の学力向上推進校として、学校全体で学力向上に取り組んできました。地道に毎日の授業を大切にしていくことで、児童の学力も確実に向上してきました。児童の頑張りはもちろんですが、児童の学力を伸ばしてきた本校教職員の頑張りもすばらしかったと思います。(手前味噌で恐縮です！)

これまでの伝統である「温かい雰囲気」の二小校区「地域と学校が仲の良い二小」を来年以降も守り続けていきたいと思えます。保護者の皆様の今年一年間の学校教育活動へのご理解とご支援に感謝申し上げます。

「心のアンケート」(いじめについて)

先日、全校児童を対象に「心のアンケート」を実施しました。その中に、「今年度いじめられたことがあるか」という質問項目があります。本校では、全部で10人の児童が、「いじめられたことがある」と回答しました。いじめの態様としては、「からかい・悪口を言われた」「押された」「呼び捨てにされた」のような内容でした。なお、警察等と連携が必要な「重大事態」は、ありませんでした。

早速、(いじめ法22条に則り)、校内いじめ対策委員会を開き、全ての事案について1件ずつ検証し、対応方針等について協議し、解決に向けて対応しました。その後、全ての事案について、解決を図り、被害児童も納得したということです。そして、そのことも含めて、関係児童の家庭に連絡等を終えました。本校としては、いじめの認知件数としては、0(ゼロ)としました。今後も児童のSOSをキャッチするようアンテナを高上げていきます。家庭でも何か気付かれたら、お知らせください。

冬休み前集会 23日

コロナ感染防止のため、リモートでの短時間の集会としました。私からは、「心のアンケート」について触れ、「相手が嫌がる言葉を言わない、相手が嬉しくなる言葉を言いましょう。」という話をし、「ひとつのことば」の詩に触れました。授業参観等で、ご覧になったと思いますが、本校の全教室、職員室、校長室には、南関町で生まれた、北原白秋の『ひとつのことば』という詩を前面に掲示しています。

ひとつのことば	北原白秋
ひとつのことばでけんかして	
ひとつのことばでなかなおり	
ひとつのことばで頭が下がり	
ひとつのことばで心が痛む	
ひとつのことばで楽しく笑い	
ひとつのことばで泣かされる	
ひとつのことばはそれぞれに	
ひとつの心をもっている	
きれいなことばはきれいな心	
やさしいことばはやさしい心	
ひとつのことばを大切に	
ひとつのことばを美しく	

また、集会の最後には、生徒指導主任から、冬休み中の友だち同士でのゲームのトラブル(課金、アイテムのやりとり、悪口の書き込み等)がないように、と重ねて注意喚起がありました。マスコミ等では、SNS等による書き込みが原因で被害児童生徒が自死し、問題化しています。「軽い冗談のつもり…」が、取り返しのつかないことに発展するケースもあります。児童を被害者にも加害者にもさせないために、家庭での目配りをお願いします。

学校として表彰されました！

以前、お伝えしました。「第13回 いっしょに読もう！新聞コンクール」(日本新聞協会主催)で本校が学校奨励賞に選ばれました。代表として、全国審査に進んだ6年生の倉岡勇吾君に表彰状を渡し、リモートで各教室に繋ぎました。この賞は、多くの児童が応募したことと、6年倉岡くん、小竹さん、5年猿渡さんが、全国賞に入賞したことで受賞したそうです。大変ありがとうございました。

また、冬休みの自由課題として、「『家庭の日』あったか家族コンクール」という取組の募集があります。「絵日記」部門、「フォト日記」部門があります。ぜひ、応募をお願いします。昨年度は、本校からの応募が多かったということで、R5年1月27日県庁において、「家庭教育支援優良団体」として表彰を受け、そこで本校教育とPTA活動について、代表発表することになっています。今年も引き続き、たくさんのお応募をお願いします。